

横浜市情報・視聴覚教育研究会

～今年度を振り返って～

研究会長 渡邊 和也

今年度、情報・視聴覚教育研究会では、タブレットPCを学習場面に導入しながら、子どものコミュニケーション力の向上をめざしてきました。

毎月行っている市の研究日には、二部会での取組をおこないました。スキルアップ部会では、タブレットPC導入に伴い必要とされる環境の整備、授業デザイン部会では、タブレットPCの効果的な活用や思考ツールとしての可能性等々についての取り組みを行いました。

タブレットPCの画面を電子黒板で映せば、すばやく簡単に子どもの意見や考えをクラス全員が共有できます。しかし、よく考えてみれば、こういう活動は今までも行われていました。ノートを持ち寄って子ども同士で話し合いや教え合いをしたり、実物投影機で子どものノートを実物投影機で映したりして、クラスみんなで共有していました。タブレットPCが特に効果を発揮するのは、子どもの個別学習や、子ども同士の話し合いや教え合いといった場面です。今までの活動がICTの活用で便利で簡単になっただけで、活動の原理は変わってはいません。今までの授業をガラリと変えようとするのではなく、活動内容は変えずに、活動の手段を新しいICT機器に置き換えるといった考え方です。今までの授業の課題を解決するために、ICT機器を使えばいいのです。これまでの授業を変えるのではなく、ICT機器でより便利で効果的な授業にしようと考えています。

このような考え方をもとにして、12月に実施した全市一斉公開授業研究会では、二会場に分かれた実践に、200名を上回る先生方にご参加頂き、活発な研究討議を行うことができました。

その結果や成果を基に、「第2期 横浜市教育振興基本計画」「目標1 施策1 横浜らしい教育重点取組5 先進的なICT教育の推進」に明記されています。「タブレット端末や無線LAN等の学習環境の整備」が新規事業と予算化されたのではないかと考えています。全校的には平成30年度末をめどに整備されるということではありますが、調査校(小学校4校、中学校4校)が設定されたことは、本研究会の授業研究がきっかけになったといっても過言ではないはずです。

今後も会委員相互が実践を積み重ね、引き続き研究を行い、子どもたちのコミュニケーション力の向上をめざしていくことを願っております。



目次

特集記事

研究会長あいさつ	1
スキルアップ部会	2
授業デザイン部会	3
市一斉授業研究会報告	4

発行

横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育研究部会
会長 渡邊 和也

編集

紀要・広報委員
東森 清仁

平成26年度 冬季広報誌



スキルアップ部会の後期活動内容について

スキルアップ部会の本年度の部会テーマは、昨年度に引き続き「教員の ICT 活用能力のスキルアップをめざして」です。

子どもたちの ICT 活用能力や活用の幅を広げるためには、まずは教員のスキルアップが必要です。ICT 機器の環境整備や活用方法、情報モラル教育などについて教員自身が理解を深めることが、子どもたちの ICT 活用能力につながります。そして、活用能力や活用の幅を広げることが、結果として子どもたちのコミュニケーション能力につながっていくと考えています。

9月には、株式会社 LoiLo の方々より、「ロイロノート・スクール」の説明と体験を行いました。ロイロノートとは、マルチプラットフォーム対応のタブレット用授業支援アプリケーションのことです。教材の配布や質疑応答を、タブレットを使用し行うことで、21世紀に必要とされる能力「思考力」「判断力」「表現力」を育むことのできるツールとして注目されています。実際に用意された iPad を使用し、参加者の方々と触りながら、優れた点や活用場面についての話し合いができました。

ICT 機器の活用方法や情報交換など、

情報・視聴覚担当者にとって身近な課題についての研究をの中から考えていけること

スキルアップ部会活動経過

9月 会員研究

「タブレット向けプレゼンテーションソフト・ロイロノート」を体験してみよう
常盤台小学校 東森 清仁先生

10月・11月 部会研究

公開授業研究会 指導案検討

12月 公開授業研究会

「学級カレンダー『かがやきの足あと』でクラスを高めていこう」
西富岡小学校 藤原 直樹先生

1月 会員研究

「タブレット導入に伴う環境整備の実践例」
「文部科学省そして横浜市が見据える2019年の環境～第二期教育振興計画の読み解き」
今宿小学校 伊藤 裕哉先生
常盤台小学校 東森 清仁先生

2月 第二次研究大会 部会活動報告

「教員の ICT 活用能力のスキルアップを目指して」
今宿小学校 伊藤 裕哉先生

「教員の ICT 活用能力のスキルアップをめざして」

スキルアップ部会 部長 伊藤 裕哉

10月・11月には、12月に行われる情報・視聴覚研究部会公開授業研究会に向けて、指導案検討を行いました。学級の児童の約半数がメールやメッセージのやり取りを日常的に体験しているという点を踏まえ、「非対面コミュニケーション」での留意点を児童が理解するためにどのような手段が効果的なのか、本時の中でタブレット端末をどのように扱っていけばよいか、という2点について、特に活発な議論がなされました。また、「自分の思いを正しく相手に伝えること」「自分の文章で誰かが傷ついていないか」「友だちの姿をより良く文章に表し、伝えられているか」といったテーマを子どもたちが理解するためには、どのような例文を用意し、文章の中の何に着目させて検討すればよいかの議論も行いました。

1月には、今年度「タブレット端末」を使用した3校の先生から、使用するための環境整備や実践例のお話を頂きました。どの学年でも、タブレット端末は多様な用途で活用していくことができるツールであることが分かりました。例として、グループ学習で使用した場合、タブレットを使って説明することで、発言する力が伸びたという意見もありました。今後の課題としては、やはり児童一人につき一台のタブレットがあると活用の幅が広がること、授業の中のどのポイントで使用するのか、ということを大切に考えていかなければならない、という意見もありました。

また、NTT コミュニケーションズの方々より、「文部科学省、横浜市が見据える2019年の環境～第二期教育振興基本計画の読み解き～」という題でお話を頂きました。ICT の活用などによる協働型・双方向型授業の推進についてや、教育の情報化が目指すもの、そして国が目指している環境整備 4 年計画について分かりやすく説明して頂き、今後の教育の情報化について見通しをもち、計画的に進めていくための必要性を知る良いきっかけとなりました。

今年度も昨年度に引き続き「教員のスキルアップ」を目標とし、タブレット PC の活用方法や環境整備、ICT機器の活用方法・情報交換、アプリケーションの活用やタブレットとソフトウェアとの連携等、各校の情報・視聴覚担当者にとって身近な課題、必要感のある課題について一年間研究を進めることができました。取り組みの中で良かった点として、実践提案・研究だけでなく、どの場でも意見交換の場がもてたことが挙げられます。また、昨年度の課題であった「子ども同士のコミュニケーションツールの一つとして情報機器を活用」という目標も、公開授業や指導案検討等を通してより一層深めていくこともできました。児童のコミュニケーション力アップという目標に対しては、引き続き研究と実践を重ねていく必要がありますが、研究会として日常的に校務や授業に ICT 機器を有効活用しながら進めていくために、スキルアップ部会では情報・視聴覚担当の先生方と実践や研究、交流の機会が更にもてるよう工夫して部会を運営していきたいと思っております。



授業デザイン部会の後期活動内容について

9月の会員研究では、シンキングツール(思考ツール)の使い方や効果について研究を深めました。「考えることを助けてくれる」シンキングツールにはさまざまな種類があり、それぞれに使う意図が求められますが活用の仕方は自由です。参加者が授業の中でどのように活用できるか「協働学習」をしました。後半では公開授業研で扱う単元にどのように生かせるか、授業づくり研修を行いました。

10月、11月には、公開授業研究会に向けて、タブレットが授業の中でどのように活用できるか、協働的な学習としてどのように展開できるのか、港北小学校の近藤先生の4年国語の取り組みを中心に、指導案検討を行いました。

「協働的な学びでのコミュニケーション」

授業デザイン部会 部長 吉田 圭一

研究のまとめとして12月に行われた公開授業から見てきたことがあります。それは、今回の実践ではタブレットのアプリやスペック、ネットワーク環境等に左右されながらも、企業のスタッフのサポートを受けながら、タブレットの動的ツールとしての有用性を十分に発揮されていました。またタブレット端末が協働的な学びと「思考の見える化」に寄与し、子どもたちの主体的な学びやコミュニケーションを促しながら、学習活動を充実させる可能性を秘めていることが立証されました。同時に、子どもたちが責任をもって機器を扱えるようなマナー・モラル指導が不可欠で、タブレットを日常的に活用し、児童の文房具的な存在にまで使い込んだ実践としては非常に価値が高かったと言えます。学習活動の流れの中で子どもたちの必要感に迫られた情報モラル指導ができたことで、押しつけ・単発ではない情報モラル指導のヒントを得ました。

ツールが変わっても、またはツールがなくても大切な学びの価値があるということ、ICT とともに大切な考え方やアナログツールの研究も進めながら授業をデザインしていくのが本部会の担うところだろうという方向性を今年度の活動全体を通して確認できました。

今後も、教科の枠を超え、資質や能力の育成にどのような授業をデザインができるか、ICT がどのように寄与していけるかを多角的に研究して参りたいと思います。



授業デザイン部会活動経過

9月 会員研究

「シンキングツールを使った授業デザイン」
藤塚小学校 千葉 教生先生

10月・11月 部会研究

公開授業研究会 指導案検討

12月 公開授業研究会

「4-2 おとなになるってことは物語～未来の自分に役立てるために『職業デジタルリーフレット』を作って街中(まちなか)で働いている人の心の火をしようかいし合おう～」
港北小学校 近藤 睦先生

1月 部会研究

「年間のまとめ～公開授業研究会を受けて、今年度の成果と課題を話し合う～」

2月 第二次研究大会 部会活動報告

「教育メディアを効果的に活用し、コミュニケーション力を育む授業デザイン」
東汲沢小学校 吉田 圭一先生

公開授業研究会報告

【スキルアップ部会】

単元名

「学級カレンダー『かがやきの足あと』でクラスを高めていこう」

学校 横浜市立西富岡小学校

学年・組 3年5組

教科 「社会」

授業者 藤原 直樹教諭

【授業デザイン部会】

単元名

「4-2 おとなになるっていいことは物語～未来の自分に役立てるために『職業デジタルリーフレット』を作って街中(まちなか)で働いている人の心の火をしようかいし合おう～」

学校 横浜市立港北小学校

学年・組 4年2組

教科 「国語」

授業者 近藤 睦教諭

「学級カレンダー『かがやきの足あと』でクラスを高めていこう」

スキルアップ部会では、「タブレット端末を活用した、中学年における非対面コミュニケーションの育成」を目指して、公開授業を行いました。

授業では、児童がタブレット機器を使って毎日書き綴っている学級の振り返りの文章「かがやきのあしあと」を題材に、自分の思いを文章で多数に対して正しく伝えるために、どのような点に留意すればよいかを考える場面でした。



研究討議では特に話題として挙げられていたのが、機器を使って活動することによって児童と教師との情報の共有化がどのように変化していくのかということでした。児童の手元にあるタブレットに教師からの教材が配信され、児童からの返信を学級で一覧するなどといった手法がどのように授業を変えていくのかという点について、様々な意見が出されました。

今回の授業をもとに、タブレットを用いた授業形態での教師と児童、学級集団での情報共有といった手立てを、さらに集団思考、自己決定へとつなげていけるような学習展開を今後の課題として研究に取り組んでいきたいと感じました。

「4-2 おとなになるっていいことは物語

～未来の自分に役立てるために『職業デジタルリーフレット』をつくって

街中(まちなか)で働いている人の心の火をしようかいし合おう～」

授業デザイン部会では、「教育メディアを活用し、コミュニケーション力を育む授業デザイン」を主題に公開授業を行いました。

身の回りの大人の職業に対しての思いを知るために「職業リーフレット」をつくるという目的や、その相手に応じて、写真と文章を対応させながら説明する文章を書くことができるという単元目標を設定し、「書くこと」を重点に授業を構成されていました。

授業後に行われた研究協議会では、近藤先生の自評を受けて、①本時のねらいを達成するための ICT 活用ができていたか？と②ICT がコミュニケーション力を高めるための手立てとなっていたか？という2つの視点で話し合い(ワークショップ型)を行いました。

タブレットならではの修正しやすさ、扱いやすさ、履歴を残せることなどが効果的だったという意見が出た一方で、アナログとデジタルの使い分けや、何をめざしたデジタルリーフレット作りなのかをもう少し考える必要があるという意見も出ました。

タブレットを使い、良いところを効果的に、しかし過度な期待はしないで、場面に合わせて活用することが求められるという講師の先生のお話が印象的でした。



研究会WEBページ

市情報・視聴覚研究会では、活動の内容を広く知ってもらうために研究会WEBページを公開しています。

各学校に配布している毎月の広報誌「メディアワールド」のバックナンバーや、年間紀要・季刊広報誌などを公開しています。

また、公開授業研の指導案、各区から提供していただいた一斉授業研の指導案なども掲載しています。

ぜひ、日頃の教育活動に役立ててください。

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/kenkyu/es-ict/index.html>

Information & Communication
Technology in Education

トップページ 研究会について 部会の紹介 活動報告 情報教育指導室 教育資料集 研究紀要 リンク

つながる・学び・どこまでも

横浜市立小学校情報・視聴覚教育研究会では、「ICTを活用して、子どもたちのコミュニケーション力アップ」の研究主題の達成に向けて、日々の活動に取り組んでいます。

横浜市立小学校情報・視聴覚教育研究会のホームページへようこそ。
本研究会の活動内容や、情報・視聴覚教育に関する情報をお知らせしています。

お知らせ

平成26年度 3月活動報告

日時 平成27年 3月4日(水) 15:00～
場所 フォーラム大田

活動報告

REPORT

情報教育指導案

TEACHING PLAN